

背教、高き所、そして一の真の立場の回復

聖書：列王上 12:25-33. 13:33-34. 申 12:2-18

I. ヤラベアムの背教は、今日のキリスト教の予表であると考えられます——列王上 12:25-33. 13:33-34 :

- A. 背教とは、神の道を離れ、別の道を取って、神以外のものに従うことを意味します。それは、イエス・キリストの御名の下で、また神を礼拝するという口実の下で、自己のために事を行なうことです——使徒 9:2. 18:26. II ペテロ 2:2, 15, 21. ユダ 11 節. 士 18:30-31。
- B. ヤラベアムの背教は、以下の五つのものから成っていました :
1. ヤラベアムは、二つの金の子牛（偶像）を造り、一つをベテルに置き、一つをダンに置いて、民をそらし、エルサレムで礼拝しないようにし、こうして、神が聖地で唯一無二の礼拝センターを持って、イスラエルの子たちの一を守るという定めを破りました——列王上 12:26-30. 申 12:2-18。
 2. ヤラベアムは、高き所に宮を建て、レビの部族でない俗的な民のうちから祭司を任命しました——列王上 12:31. 13:33 後半. 歴代下 13:9。
 3. ヤラベアムは、祭りを第八の月の十五日（自分の心で考え出した月）に、ユダにある祭りのように決めました——列王上 12:32 前半, 33 後半。
 4. ヤラベアムは、ベテルの祭壇で、彼が造った子牛に犠牲をささげ、高き所の祭司たちをベテルに置きました——列王上 12:32 後半-33 前半。
 5. ヤラベアムは祭司ではないのに、祭壇に上りました——列王上 12:33 後半。
- C. ヤラベアムの背教は重大な罪となり、彼の全家族が神の裁きの下で滅ぼされ、最終的にイスラエルが捕囚に引いて行かれることになりました——列王上 13:34. 14:7-11, 15-16. 15:29-30. 列王下 17:20-23。
- D. 今日の「ヤラベアムたち」によって設立された礼拝センターは、実は、野心のセンターです :
1. キリスト教の分裂は、利己的であることと野心によって引き起こされます。
 2. ある人たちは野心を持って、自分の利己的な願望を満たす帝国を持つようとしていて、神の選びを無視します。
- E. 神の新約エコノミーの中で、キリストにあるすべての真の信者は神の祭司とされています。しかし、墮落したキリスト教では、組織を建て上げて、何人かの信者が神の奉仕を行なうように定め、彼らを聖職者階級にして、残りの信者を平信徒にしました。これは、わたしたちが忌み嫌い、捨てなければならない背教の実行です——I ペテロ 2:9. 啓 1:6. 5:10. 2:6, 15。
- F. 今日のキリスト教は背教で満たされているので、主は回復、すなわち命と真理の回復を必要とします——エレミヤ 2:11, 13, 19. 啓 2:6, 15. I ヨハネ 1:1-2, 5-6. ヨハネ 18:37 後半. 10:10 後半。

- G. 命の備えと真理の啓示は、使徒たちが背教と召会の墮落を対処する時に用いた抗毒剤です——Ⅰヨハネ 1:1-2, 5-6. ヨハネ 18:37 後半. 10:10 後半. Ⅱペテロ 1:3-21. Ⅱテモテ 1:1, 10. 2:15, 25。
- II. 真の、すべてを含む一を回復し、守るために、わたしたちは高き所を壊さなければなりません——列王上 11:7-8. 12:26-33. 13:33-34. 14:22-23. 15:14. 22:43. 列王下 12:2-3. 14:3-4. 15:3-4, 34-35 :
- A. 高き所は、異邦の民が彼らの偶像を拝んだ場所でした。
- B. イスラエルの子たちがカナン之地に入ってそれを所有するとき、神は彼らに、諸国民のすべての高き所を破壊するようにと命じました——申 12:1-3 :
1. 高き所を立てることは、分裂を持つことです。ですから、高き所の意義は分裂です。
 2. 神は彼の民の一を守るために、彼らが彼の選びの唯一の場所に来るように求めました。高き所は、この唯一の場所の代替であり、別の選択でした——申 12:8, 11, 13-14, 18。
 3. 列王紀上の二人の王、ソロモンとヤラベアムが、先頭に立って高き所を立てました。前者は情欲にふけったゆえであり、後者は野心のゆえです——列王上 11:7-8. 12:27。
- C. 高き所は高台であり、一般の水準より上に引き上げられたものです :
1. これが示すのは、高き所が、ある事物を高く上げることと関係があるということです。
 2. 原則において、キリスト教におけるあらゆる高き所、あらゆる分裂は、キリスト以外の事物を引き上げ、高く上げることと関係があります——参照、コロサイ 1:18。
- D. ソロモンとヤラベアムの下で高き所を築くことの記載には、霊的な意義があります。それはわたしたちの霊的な教訓のために書かれました——ローマ 15:4-6 :
1. ソロモンとヤラベアムが築いた高き所は、一の立場に重大な損害を及ぼしました——列王上 11:7-8. 12:26-33。
 2. 召会生活の中で、わたしたちはどのような高き所も持つべきではありません。むしろ、わたしたちはみな同一水準にいて、キリストを高く上げるべきです——コロサイ 1:18. 3:10-11。
 3. 高き所はすべて、真の犠牲がささげられていても、一の立場に損害を及ぼします。
- E. 高き所を壊すことは、三つの主要な事柄と関係がありました。それは場所、偶像、名です——申 12:2-3 :
1. 霊的に言って、わたしたちは召会以外のあらゆる場所、キリストの御名以外のあらゆる名を壊さなければなりません。この事が意味するのは、わたしたちが自分の文化、個性、気質、習慣、天然の特徴、好み、宗教的な背景とその影響、すなわち、真の一に損害を及ぼすあらゆるものを、壊さなければならないということです——ガラテヤ 2:20. 5:24. 6:14。
 2. コロサイ第3章 11節の言葉を実現させるために、他のあらゆる場所は、徹底的に壊されなければなりません :

- a. わたしたちは、キリストと共にある召会以外のあらゆるものを壊さなければなりません。
 - b. わたしたちはただ召会生活の中において、キリストを良き地の豊富として享受しているべきです——申 8:7-9. エペソ 3:8。
3. 召会生活が弱められているのは、進んで高き所を壊すことに欠けているからです——列王上 15:14. 22:43 :
- a. わたしたちの人生と文化において、壊される必要のある多くの場所が残されたままになっています。わたしたちはそれらをすべて壊し、次に神の選びの唯一の場所、すなわち召会に行かなければなりません——ガラテヤ 5:24. マタイ 16:18。
 - b. 壊されるべきあらゆる場所に、奉献された石柱の像、木像、偶像があります。わたしたちの性格や個性には、壊されなければならないそのような石柱の像、木像、偶像があるかもしれません。
 - c. 召会の中にはキリスト以外に何もありません。キリストがすべてであり、すべての中におられなければなりません——コロサイ 1:18, 27. 2:2. 3:11。

III. キリスト教世界全体の背教、高き所、分裂のゆえに、一の真の立場が回復される必要があります——エペソ 4:2-6, 13. ヨハネ 17:11, 14-23. I コリント 10:16-17 :

- A. 新約における神聖な啓示によれば、召会の立場、すなわち、一の真の立場は、三つの極めて重要な要素から構成されています :
1. 召会の立場の構成の第一の要素は、キリストの宇宙的なからだの唯一の一です——エペソ 4:4 :
 - a. この一は、「その霊の一」と呼ばれています——エペソ 4:3。
 - b. この一は、主がヨハネ第 17 章で祈った一です。すなわち、手順を経た三一の神とキリストにあるすべての信者とのミングリングの中にある一です——エペソ 4:6, 11, 14-24。
 - c. この一がキリストにあるすべての信者の霊の中へと分け与えられたのは、彼らが命の霊によって、神聖な命としてのキリストをもって再生されたときでした。
 2. 召会の立場の第二の要素は、地方召会が設立され存在する地方の唯一の立場です——使徒 14:23. テトス 1:5. 啓 1:11。
 3. 召会の立場の第三の要素は、一の霊の実際であり、それはキリストの宇宙的なからだの唯一の一を、地方召会の地方という唯一の立場で表現します——I ヨハネ 5:6. ヨハネ 16:13 :
 - a. 神聖な三一の生ける実際である実際の霊によって、キリストのからだの一は、真のもの、また生けるものとなります
 - b. この霊を通して、召会の立場は、律法的にではなく、命の中で適用されます。
 - c. この霊によって、召会の真の立場は三一の神と結び付けられます——エペソ 4:3-6。
- B. 召会、すなわち、キリストの有機的なからだは、分裂していないものであり、分裂できないものです。この唯一のからだは、多くの地方召会の中で表現され、三

一の神がそうであるように神聖な一の中にあり、また神聖な性質、要素、本質、表現、機能、証しの中にあります——啓 1:11. ヨハネ 17:11, 21, 23。

C. 真の一、すなわち、神の性質にしたがった一は、すべてを含む、包括的な一であり、すべての積極的なものを含みます——詩 23:6. 36:8-9. 43:3-4. 84:1-8, 10-12. 92:10. 133:1, 3 後半 :

1. 一が回復される時、すべての霊的な豊富とすべての積極的なものがそれと共に回復されます。なぜなら、それらはすべて一の中に存在するからです——エペソ 4:3. 3:8。

2. すべての敬虔な事とすべての霊的な豊富は、一の真の立場の上でわたしたちのものです——申 8:7-9. 12:12, 26-28。

3. 真の一は、部分的な一ではありません。それは偉大で、全体的で、包括的な一、全体における一です——詩 133:1 :

a. この一は、エペソ第 4 章 3 節から 6 節に啓示されているように、父なる神、主なるキリスト、そして命を与える方としてのその霊を含みます。

b. すべてを含む一は、わたしたちにすべての積極的な美徳と属性を得させます——エペソ 4:1-2。

D. 高き所を壊すことに関するビジョンのゆえに、また真の一、すべてを含む一を回復し守ることに関するビジョンのゆえに、主に感謝し主を賛美します。今日、主の回復の中で、この一を認識し、経験し、享受することができるのは、わたしたちの特権です——詩 133:1, 3 後半. ヨハネ 17:21-23. エペソ 4:3-6。